

製品安全データシート

【製造者情報】

会社名：住友大阪セメント株式会社
 住所：東京都千代田区六番町6番地28
 担当部門：建材事業部 技術開発グループ
 電話番号：03-5211-4755
 FAX番号：03-3221-5185
 緊急連絡先：建材事業部 技術開発グループ
 電話番号：03-5211-4755
 作成・改訂年月日：2008年4月15日

【製品名】コンクリートのかんたんボカシ剤

【物質の特定】

単一製品・混合物の区別：混合物

成分	含有量 (%)	化学式又は構造式	官報公示整理番号 (化審法)	CAS No.
1, 1, 1, 2-テトラフルオロエタン	20~40	CH ₂ FCF ₃	(2)-3585	811-97-2
1, 1, 1, 3, 3-ペンタフルオロプロパン	40~50	CHF ₂ CH ₂ CF ₃	—	460-73-1
メチルノナフルオロブチルエーテル	5~15	CH ₃ OC ₄ F ₉	—	163702-07-6
ケイ酸カルシウム	8~9	3CaO·SiO ₂ , 2CaO·SiO ₂	(1)-194	65997-15-1
アルミン酸カルシウム	5~6	3CaO·Al ₂ O ₃ , 12CaO·7Al ₂ O ₃ , CaO·Al ₂ O ₃	(9)-2408	65997-16-2
硫酸カルシウム	1~2	CaSO ₄ , CaSO ₄ ·2H ₂ O, CaSO ₄ ·1/2H ₂ O	(1)-193	7778-18-9
その他の含有成分	1~5	Fe ₂ O ₃ , MgO, Na ₂ O, K ₂ O, CaCO ₃ 等	—	—

国連分類及び国連番号：国連基準の評価では危険物に該当しない（記載なし）

【危険有害性の分類】

化学物質等の分類：高圧ガス(エアゾール)

危険性：不燃性粉体と非腐食・非引火性ガスとの混合物である。

液状で大気中に取り出した場合、大きな蒸発潜熱を奪って気化するので、直接皮膚に触れると凍傷の恐れがある。

密閉した室内で使用する場合、窒息の恐れがあるので換気を十分に行う。

有害性：水と反応しアルカリ性（pH 12~13）を呈する。

目、鼻、皮膚に対し刺激性がある。目の角膜、鼻の内部組織、皮膚に炎症を引き起こす場合がある。飲み込むと喉を刺激する。

高い温度で加熱された場合、フッ化水素、パーフロロイソブチレンなどの有害な分解物を生成することがある。

【応急措置】

目に入った場合：清浄な水でよく洗浄した後、眼科医の診察を受ける。
皮膚に付着した場合：圧搾空気で吹き飛ばした後、清浄な水で洗浄する。液に接触すると凍傷の恐れがあるので衣類に付着した場合は直ちに脱がせる。必要な場合は医師の診察を受ける。
吸入した場合：新鮮な空気の場所で、清浄な水でよくうがいをした後、医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合：意識がある場合、水を飲ませて吐かせる。すぐに医師の診察を受ける。

【火災時の措置】

消火方法：この製品は不燃性であるが、本製品周辺で火災が発生した場合、炎により有毒ガスが分解生成する恐れがあるので容器を速やかに安全な場所に移す。
消火剤：粉末、泡、炭酸ガス、水等、周辺の火災に対して有効な消火剤を選ぶ。

【漏出時の措置】

可能であれば容器の漏洩部を塞ぐ。漏れが止まらなければ開放された危険のない場所に運び出し放出する。
粉体はバキュームで吸引捕集する。またはスコップ、ほうき等で集めて回収する。付着して回収しきれないものは水で洗浄する。ただし洗浄水はアルカリ性を呈するので、必要に応じて、中和や希釈の処置をとり、直接河川等に流さないようにする。
水で洗浄する場合、床が滑りやすくなるので多量の水でよく洗い流すこと。

【取り扱い及び保管上の注意】

取り扱い：1) 高圧ガス保安法に準拠して作業する。
2) 身体への直接の接触を防ぐためにゴム手袋、保護眼鏡、保護マスク、保護衣等、適切な保護具を着用する。
3) 水がかからない場所で取り扱う。
4) 換気の良い場所で取り扱う。
5) 充填容器を加熱する場合、温湿布または40℃以下の湯煎を使用する。
6) 作業終了後は必ず洗浄、うがい等を行い、身体に付着した粉体を除去する。
7) 中身を完全に使い切ってから廃棄する。
保管：高圧ガス保安法に基づいて貯蔵すること。
直射日光を避け、40℃以下で乾燥した風通しの良い場所に保管する。
容器の転倒によるバルブの損傷を防止する措置を講ずる。

【曝露防止措置】

管理濃度：労働安全衛生法・作業環境評価基準 2.9 mg/m³
許容濃度：日本産業衛生学会（2006年度版） 第2種粉塵
吸入性粉塵 1 mg/m³
総粉塵 4 mg/m³
設備対策：屋内で取り扱う場合、粉塵を許容濃度以下にするため、排気設備を設置する。
多量に取り扱うときには集塵機を設置する。雨掛かりの無いようにする。
保護具：状況に応じてゴム手袋、防塵マスク、保護眼鏡、保護衣を着用する。

【物理／化学的性質】

外観等：スプレー缶（エアゾール）

臭い：わずかなエーテル臭

沸点：データなし

融点：データなし

比重：1.4～1.6（20℃）

【危険性情報(安定性・反応性)】

引火点：なし

発火点：データなし

爆発限界：なし

可燃性：なし

酸化性：なし

自己反応性・爆発性：なし

粉塵爆発性：なし

水との反応性：粉体は水と反応し、水硬性である。また大量に反応させると発熱する場合がある。（アルカリ性を呈する）

その他：ガスの成分は150℃以上に連続して暴露した場合、熱分解を起こしてフッ化水素及びフッ化カルボニル等の有毒ガスが発生する可能性がある。

この製品自体は不燃性である。

【有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)】

刺激性：水と反応してアルカリ性を呈するため、目や皮膚を刺激する。また皮膚に付着したままにすると、炎症を起こす可能性がある。

急性毒性：知見なし。

慢性毒性：吸入を続けると塵肺になるおそれがある。

ガン原性：知見なし。

変異原性(微生物・染色体異常)：知見なし。

【環境影響情報】

分解性：分解しないが、水と反応して水和物を生成する。接触した水は、アルカリ性（PH12～13）のため、環境への影響には注意を要する。

蓄積性：知見なし。

魚毒性：データなし。

オゾン破壊係数：0（但し、CFC-11を1.0とする）

【廃棄上の注意】

スプレー缶の廃棄は、中身を使い切ってから火気のない屋外で噴射音が消えるまでボタンを押し続け、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」や各自治体の定める方法に従って廃棄すること。

また、地球温暖化物質を含むため、むやみに大気中に廃棄せず下記法律に準拠して処理すること。

- ・ 特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保に関する法律
- ・ 地球温暖化対策の推進に関する法律

【輸送上の注意】

高圧ガス保安法に準拠して取り扱うこと。運搬に際しては粉塵をたてないこと、水濡れの無いことに注意する。容器に破損、内容物の漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

【適用法令】

高圧ガス保安法

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

労働安全衛生法（粉塵障害防止規則）

じん肺法

特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保に関する法律

地球温暖化対策の推進に関する法律

【その他】

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関してはいかなる保証をなすものではありません。記載事項は通常の取り扱いを対象としたもので、特殊な取り扱いの場合にはこの点のご配慮をお願いします。

危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取り扱いには充分注意して下さい。